

みんなのた場



桃生地区・太田

三浦 妃那ちゃん 10歳・桃生5年
 雅琥君 8歳・桃生3年
 明咲ちゃん 6歳・桃生1年

両親が共働きのため、上の二人は学校が終わると、放課後児童クラブで過ごします。未っ子の明咲ちゃんは保育所ですが、4月から小学生になり、同じ放課後児童クラブに入ります。

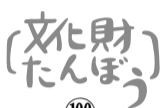
明咲ちゃんは「お店屋さんごっこをしてレシを打つのが好き。将来は洋服屋さんの店員になりたい」と笑顔を見せます。

お父さんの健さんは「明るく楽しい子どもたちです。自慢できる大人になってほしい」と言います。お母さんの由佳さんは「お風呂掃除を手伝うなど、頼れるようになってきました。心の優しい人に育ってほしい」と願っています。



平成17年、石巻地域合併の年から数えて今回で100号となる「文化財たんぼろ」。合併以前にも「市報いしのまき」誌面で300回以上も文化財の紹介をしてきました。しかし、その中には、残念ながら東日本大震災で被災し、損壊あるいは滅失、流失したものがああります。

市有形文化財の井内石製の金華山道標常夜燈(平成11年指定)もそのひとつです。江戸時代中期以降、金華山詣でがさかんになってきましたが、台座から火袋の屋根までの高さ約2.5尺、最大幅約1.5尺の常夜燈が祝田浜の渡船場に建てられ、参詣航路の目印として、明



被災文化財の保存・継承

生涯学習課

市有形文化財 金華山道標常夜燈



被災前の常夜燈

かりをともししていました。

石垣が組まれた台座には文化10(1813)年、塩田の釜主吉右衛門ら5人が寄進、奉納したものであること、石工善吉の作であること、さらに祝田浜から金華山までの陸路と海路のルートとそれぞれの経由地までの距離が刻書されています。



救出された部材

す。被災直後、所有者によって倒壊した部材が救出されました。流失してしまっ

たと思われる部材もありましたが、金華山信仰や街道の歴史を語る貴重な文化財は、現在、市の施設に保管されています。

市民の財産でもある文化財の復元や修復は可能であっても、失ってしまえば原状に戻すことはできません。修復できるものには限り修復して長く保存し、次世代へ継承していく責任があります。

キラッとパチリ

商工課

木谷 美智子さん 31歳
 広島市から派遣

豪雨災害機に志願

広島市に入庁した年に豪雨災害があり、避難所や消防署での復興支援業務を担当しました。その経験を生かし震災復興の役に立ちたいと思い、自ら派遣を志願しました。

書類のチェックから補助金支払いまで、中小企業の補助金申請業務を担当しています。震災で被害を受け、事業を立て直すという方に「補助金があつて助かります」と言われた時にやりがいを感じます。

石巻市は職場も街の人々も、明るく元気が良い人ばかりという印象です。これからも訪れた人が元気をもらえるパワフルな街でいてほしいです。



一手間かけて、おいしく減塩

食育推進コーナー

毎月17日は『減塩の日』

1日の塩分の目標量は、男性8g未満、女性7g未満、高血圧予防・治療の方は6g未満です。

塩分の取りすぎは高血圧につながります。また、高血圧は、脳卒中の最大の危険因子です。できることから減塩を心がけましょう。

○減塩のポイント

- 調味料に含まれる塩分量を知っておく
- 天然食品でだしをとる
- 旬の食材を選ぶ
- 酢やかんきつ類などの酸味を生かす
- 香辛料・香味野菜(ねぎ、しょうがなど)を上手に活用する



健康推進課(内線2617)

まちの話題

「世界に一つだけの器」作る

市内の陶芸家亀山英児さんを講師に迎えた陶芸教室が1月30日、水浜漁村センターで開かれました。

今回が全6回の講座の初回で9人が参加し、粘土を使って湯のみやコーヒーカップ、ぐい飲みなどを作りました。参加者は「厚みを均等にすることに気を使う」「底の形成が特に難しい」などと話しながらも、一人一人違う形の「世界に一つだけの器」作りを楽しんでいました。



雄勝地区

陶芸教室

河北地区

河北幼稚園で火災予防のコンサート

音とリズムで「火の用心」

全国春の火災予防運動(3月1日～7日)が行われ、その一環として河北幼稚園で3月1日、石巻広域消防音楽隊のミニコンサートが開かれました。

幼年消防クラブの法被を着た園児63人を前に、子どもたちもよく知っている5曲が演奏されました。話題となった人気ドラマの楽曲の演奏では、音楽隊員2人と一緒に歌って踊る園児もいて、楽しく火の用心を学びました。



趣味や学習会で人生豊かに

桃生地区の60歳以上の住民を対象とした「桃生町長生大学」の本年度卒業・修了式が2月21日、桃生公民館大ホールで行われました。

1年間の受講を終えた45人の受講生が出席し、桃生公民館の武山館長から卒業・修了証書を受け取りました。長生大学は、書道やカラオケなど趣味の教室と生活に関する学習会を計10回開講し、生きがいづくりをしています。



桃生地区

長生大学卒業修了式

河南地区

「和小ソーラン」引き継ぎ式

伝統の踊り 先輩から後輩へ

和瀨小学校で2月27日、6年生が後輩に伝統の踊り「和小ソーラン」を託す引き継ぎ式が行われました。

全校児童96人が体育館に集まり、石森和義校長のあいさつの後、6年生14人が力強い踊りを披露。6年生の杉本頼音君が「自信を持って踊って」と後輩たちに伝統を託しました。5年生、それに1カ月前から練習してきた4年生と一緒に、受け継いだ踊りを披露しました。



音楽のイメージ 全身で表現

子育てセミナー「リトミック」が2月15日に牡鹿保健福祉センター清優館で開かれました。

1～3歳の子ども10人とその母親たちが参加。講師の指導で、いろいろな音楽に触れてイメージを膨らませながら、全身を使った表現遊びを楽しみました。最初は驚き、不思議そうな表情をしていた子どもたちですが、次第に目をキラキラ輝かせて表情を豊かに駆け回りました。



牡鹿地区

子育てセミナーでリトミック

北上地区

北上地区慰霊碑等除幕式典

追悼 犠牲者264人の名前刻む

東日本大震災での北上地区の犠牲者を追悼する慰霊碑などの除幕式典が3月11日、北上川河口を望む北上地区慰霊公園で挙行政され、遺族ら約300人が参列しました。

慰霊碑は犠牲者264人のご芳名が刻まれ、慰霊碑中央部の塔状のモニュメント先端は、津波が襲った高さの海拔13.8mを示しています。遺族の寄付による「希望の鐘」も完成、旧吉浜小の慰霊碑も移設されました。



震災語り継ぐ大切さ再認識

震災伝承の意義を学ぶ会第1回伝承シンポジウム「伝える力 地域を超えて 世代を超えて」が3月9日、石巻専修大学で開かれました。

室崎益輝・兵庫県立大学大学院教授と原田浩・元広島平和記念資料館長が基調講演しました。伝承活動に取り組む「若者トーク」の後、講師2人と新潟、岩手、宮城(石巻市)で伝承活動をすすめる3人が討論し、語り継ぐことの大切さを学びました。



石巻地区

第1回伝承シンポジウム

石巻地区

石ノ森萬画館「ひなまつりイベント2018」

「つまみ細工」の楽しさ体験

石ノ森萬画館で3月3日、12年ぶりに「ひなまつりイベント2018」が行われました。

つまみ細工の小物作りワークショップでは、子どもたちや家族連れなどがスタッフの指導で、木製クリップやヘアピンに色鮮やかな花びらの飾りを付ける体験を楽しみました。来館者手作りの「折り紙つるし雛」展示コーナーや先着100人にひなあられのプレゼントもありました。

